

ヴリーツェン市の肥沼博士通りに「友好の桜」

～Dr.肥沼「結ぶ 桜のプロジェクト」～

大戦直後のドイツで伝染病の治療に尽力し、八王子市とヴリーツェン市との友好交流のきっかけとなった、本市出身の医師・故肥沼(こえぬま)信次(のぶつぐ)博士。「桜を見せたい」と言い残し、亡くなられた博士の想いを叶えたく、本市の市民団体「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」が募金を行い、目標額（300万円）を超える約360万円をヴリーツェン市に送金。この募金を基に、ヴリーツェン市内にある肥沼博士通り沿いの広場に桜の苗木が植えられました。

このたび、日本語とドイツ語で「友好の桜」と題した銘板をヴリーツェン市に送り、桜の苗木を植樹した場所に設置していただきます。

- 1 送付日 3月2日（木）
- 2 送付先 ドイツ・ヴリーツェン市
- 3 銘板製作
Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会（企画）
市内事業者（製造）
八王子市部課長会（費用負担）



<問い合わせ>

市民活動推進部多文化共生推進課長 中野目 電話 042-620-7437